

豊かな広島湾再生の取り組み紹介



弥山(宮島)より撮影



国土交通省
中国地方整備局 港湾空港部



1 広島湾再生行動計画（第二期）について

- 広島湾の保全・再生を図るため、関係省庁や地方公共団体で構成された広島湾再生推進会議において、**平成19年3月に『広島湾再生行動計画』を策定**し、10年間取り組みを推進してきたが、計画は平成28年度をもって終了。
- 広島湾の再生を効率的・効果的により一層推進するため、行政機関のみならず、市民・NPO、民間企業、研究機関、地方自治体、漁業関係者等が一体となって、**官民連携による施策の推進**を目指す『**広島湾再生行動計画（第二期）**』を平成29年3月に策定。

広島湾



広島湾再生行動計画（第二期）の推進体制



2 広島湾再生行動計画（第二期）の目標

- 第二期計画では、豊富に存在する森林から川を経て海までの距離が近く、多島美に代表される美しい自然景観や歴史・文化を形成する、他にはない広島湾の特徴を活かし、**多様な生物を育む豊かで美しい海を再生し、人々が将来にわたり誇りを持てるような広島湾を目指す。**

目標

森・里・川・海の繋がりを活かして、人々が豊かさを享受できる広島湾を実現し、次世代に継承する。

個別目標 1

多様な生物を育む、恵み豊かな里海を創生する。

個別目標 2

人々が行き交う、賑わいと癒やしの水辺空間を創出する。

個別目標 3

自然や歴史・文化的資源を活かし、水辺の美しい景観を保全する。

計画期間：平成29年度～令和8年度（10年間）

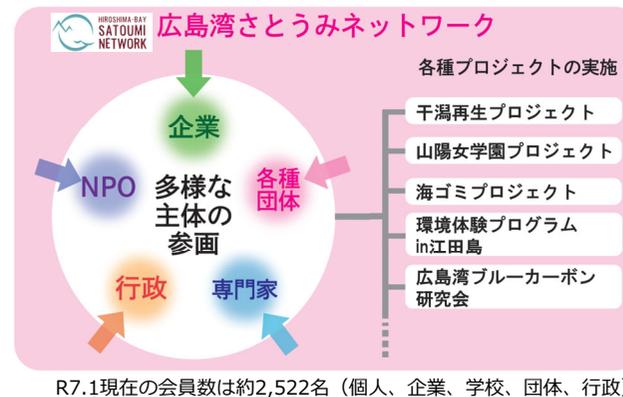
広島湾の将来イメージ



3 官民連携による取り組みの推進

- 多様な主体の参画による取り組みの活性化を図るため、官民連携組織を設置し、**行政だけ、民間だけでは実現が困難な取り組みや、民間のアイデアによる新しい取り組み（プロジェクト）を、官民が連携して進めている。**
- 官民連携組織は、平成30年1月から準備会を立ち上げて検討を進め、**令和2年3月18日に「広島湾さとうみネットワーク」として正式に発足。**

体制



参加要件（会費無料）

- 広島湾さとうみネットワークの趣旨に賛同する方であれば、どなたでも参加可能
- ・広島湾をはじめとする瀬戸内海域の環境を守りたい方
 - ・広島湾域の自然や歴史を活用した賑わい・交流に関心のある方
 - ・海のレジャーや海の幸に関心のある方

主な取り組み

- ・民間提案型のプロジェクトの活動
- ・広報イベントの開催
- ・会員が主催するイベント等の情報発信など

4 官民連携組織による取り組み（プロジェクト）



干潟再生プロジェクト



アサリ養殖場整備や環境学習イベントを通じて、干潟などの環境保全の大切さを伝える。

広島湾のウミウシ研究 (山陽女学園プロジェクト)



ウミウシの長期的な調査を通して瀬戸内海の状態変化を考察し、生物生息環境の保全に貢献する。

海のゴミプロジェクト



清掃イベントやエコツアーなど海ゴミ削減の啓発活動を通じて、観光資源としての広島湾の景観の保護を目指す。

環境体験プログラム in江田島



広島湾の魅力を再発見してもらい、島しょ部の活性化を図るとともに、企業等と連携した新たなビジネスの創出も目指す。

広島湾ブルーカーボン研究会



広島湾内で、CO2の吸収源となる藻場の移植などの再生活動や環境学習を行い、藻場の大切さを伝える。

レジリエンス強化に向けた地域コミュニティ確認ツアー



広島湾の島しょ部の地域を巡るツアーを実施し、地域のコミュニティ力やレジリエンス強化を目指す。

白砂青松の浜づくりプロジェクト



カキ殻を用いて底質中の硫化水素を減らすことで水質浄化につなげ、底生生物を増やすことで水産資源の回復を図る。

竹が繋ぐ「里山」と「里海」の循環と再生プロジェクト



牡蠣養殖用漁具（スベーサバイブなど）を、環境負荷の少ない天然素材（竹）に転換し、環境改善に努める。

5 豊かな広島湾再生の取り組み紹介（1）



- 近年、広島湾を活動拠点とした民間の取り組みが活発化する中、その動きを加速させるため、広島湾さとうみネットワークでは、活動家及び民間事業者等、広島湾にまつわる多様な方々が交流する場を計6回開催。
- 交流会を通じて、広島湾さとうみネットワークへの理解向上や、新たな取り組みの創出に寄与。

開催概要

日時：令和6年6月 1日（土）、6月29日（土）、7月20日（土）、8月28日（水）、9月21日（土）、10月26日（土）

主催：特定非営利活動法人 瀬戸内さとうみ楽会
内容：1部 参加者の興味があることを含めた発表の場
2部 発表された事項を含め、気になっていることを自由に意見交換する場

ゲスト：11名
参加者：125名（オンライン参加者含む）

コーディネータ
百武 ひろ子

- ・県立広島大学 大学院経営管理研究科 教授
- ・論文 ブルーカーボンによる地域価値発見



1 1部：ゲストによる発表



2 2部：ワールドカフェ形式で意見交換

ゲストによる発表を通じて参加者が、どう関われるのか等について議論



6 豊かな広島湾再生の取り組み紹介（2）



- 広島湾みらいアクションでは、ゲストからの活動内容のスピーチや参加者全員によるワールドカフェを通じて、以下のような新たな取り組みを創出。

ひろしま海の森づくりプロジェクト(TSS)

パートナー企業や学校教育と連携してアマモ場の再生活動を行い、その様子を情報番組等で発信



○生物多様性のある広島湾をつくっていくために、藻場づくりを行い、豊かな海を目指すプロジェクト

○広島湾内の小学校と連携し、浅瀬の何もない海辺にアマモの種をまくことで、アマモを再生し、豊かな海をつくる取り組みを実施

さとうみネットワーク JK部 (山陽女学園)

JK=女子高生のパワーで、若い世代の視点から広島湾の魅力を発信



○広島湾の次世代を担う若い世代からの情報発信により、広島湾さとうみネットワークの裾野を広げる取り組み

○Instagram等のSNSを活用したイベントの告知や広島湾の知られざる魅力を楽しく発信



げんき玉で里海のアマモ畑復活



里山里川の地域資源で生まれた「げんき玉」で里海のアマモ畑を復活

アドベンチャー ツーリズム



森、川、海、島のつながりを感じて旅（リジェネラティブな旅）を紹介

イチオン絶景スポット



交流会の参加者からは是非おすすめしたい広島湾の絶景スポットを紹介

さとうみ人マップ



広島湾の面白い人や面白い活動に出会える場所として、さとうみ人マップを作成・WEBで閲覧